

区役所・サンプラザ地区 再整備事業を問う

都民アリスト・舞鶴の会
いながき じゅん子



①選定された事業協力者の提案は、他の応募グループと比較して、具体的にどの部分の評価が高かったのか。②平成31年3月の再整備事業計画素案の公表まで、1万人アリアナ計画が見直されるかについて、区民や議会が全くわからないという問題は問題である。その前に方針や考え方を、明らかにする必要があるのでは。

ひきこもり支援の 明確な担当部署をつくれ

全国的に社会問題化しているひきこもりについて、直接の担当部署が明確ではなく、総合的な支援事業が行われていない。現場からの情報を集約し、総合的施策を実施する担当部署をつくってはどうか。①提案内容が、中野駅周辺の課題を広く認識し、解決方法を具体的に提示した提案内容であり、相対的に評価が高かったと認識している。②これまでの検討状況を踏まえ、素案の提示前に、再整備

西武新宿線沿線まちづくり 生活者の声を反映せよ

公明党議員団
甲田 ゆり子



①なかなか意見や考えを伺うことができない子育て世代や若い人などから、声なき声を聴き、広報や意見の聞き取りを工夫することが重要では。②用地取得に関する補償とは別に、専門的機関の支援が受けられる仕組みを導入しては。

「孤育て」への温かな支援を 一時保育ができる子育てひ

①わが国や子育て支援の現状を踏まえ、子育て支援の充実について、適切に対応していく。②地権者の生活再建を支援する必要がある、そういった仕組みの導入を検討したい。③子育て支援の充実について、適切に対応していく。④子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑤子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑥子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑦子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑧子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑨子育て支援の充実について、適切に対応していく。⑩子育て支援の充実について、適切に対応していく。

子育て先進区への 取り組みを問う

立憲民主議員団
山本 たかし



①学童保育の質の向上のため、ガイドラインを示すべきでは。②児童館を存続するの観点から、児童館運営指針の改定を進めるべきでは。③子どもたちが、雨天時でも遊びたい。④中高生の将来の夢のきつかけ作りや好奇心に出会う機会を提供できる、機能や居場所が必要ではないか。

西武新宿線地下化後の鉄道上部空間の土地利用を問う

①質の確保、向上を図るために、検討していきたい。②児童館の機能や役割の再整理を行っており、運営指針についても必要な見直しを行う。③今後研究していきたい。④音楽やダンス等の活動のためのハード面や、多世代交流のためのソフト面の検討や、中高生による主体的な運営体制、設置場所について、今後検討をしていく。

手話言語条例制定の検討を 当事者の意見を反映した条例制定の検討を行うべきでは。

区長 当事者の意見も踏まえ、検討していきたい。

区長 西武新宿線地下化後の鉄道上部空間の土地利用を問う

区長 親子農園や、区内在住・在勤クリエーターの創作活動の工房として活用してはどうか。

区長 地域の意見を伺いながら検討していきたい。

町会・自治会掲示板に支援を
掲示板は、地域の重要な情報源であるため、設置にかかる支援を拡大すべきでは。

区長 設置の支援に取り組みたい。

区長 公園ごとに機能や利用方法などが異なるため、利用ルールの見直しは必要であると考えている。その際は町会等の協力も得ていきたい。

地域猫対策事業の
助成対象を拡大せよ

猫の不妊去勢手術などを目的とした地域猫対策事業の助成対象を町会以外の個人や団体にも拡大すべきではないか。

区長 町会やボランティア活動をされている方などから意見聴取等を行い、現行制度を検証した上で、必要な見直しを行っていく。

大和町商店街 にぎわい復活の施策を

自由民主党議員団
大内 しんじ



①大和町中央通り沿道を、にぎわいの交流軸として位置付け、まちの魅力を創出すべきでは。②中央通りの拡幅整備の進捗状況は。③妙正寺川から北側の新青梅街道までの整備の進捗状況と今後の整備予定はどうか。

区長 ①大和町防犯まちづくり計画において、大和町中央通り沿道を地区の中心・交流拠点として位置付けたところである。今後、大和町中央通りの拡幅整備を契機とした、沿道建物の共同化や地域

資源を活かしたまちづくりを推進する。②都による用地取得が進められており、平成30年3月末時点で5割程度である。③都など関係機関と協議を進め、道路拡幅整備に合わせた防災まちづくりを進める。

中野区新庁舎の構想を問う

①基本計画には2023年竣工とあるが、スケジュールと建物規模はどうなっているか。②6階の区長室フロアの災害対策本部への機能転換はどのように行うのか。

区長 ①竣工は基本計画通り行う。東京2020オリンピック・パラリンピック大会終了後に現中野体育館の解体工事を行った後、建設を行う。延床面積約4万7000㎡の予定である。②防災関係諸室及び会議室を配置し、発災時に迅速に機能転換する。

「東北復興大祭典なかの」の実施結果を問う

2日間で20万人以上集まる区内最大級のイベントへと発展した。どのような内容か。

区長 仙台すずめ踊りや盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、秋田竿燈まつり、福島わらじまつり及び青森ねぶた祭りといった東北絆まつりに

関係する全ての自治体に参加した。ねぶたの運行と併せ、東北絆まつりの踊りと、日本三大流し踊りの一つである黒石よされも行われた。

「区議会だより」は各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみならずのお手元にお届けしています。また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。

【問合せ】区議会事務局 (電話03-3228-5585)

防災対策を強化せよ

日本共産党議員団
いさ 哲郎



①避難所に対応する防災倉庫が、その避難所に指定されている避難所の地域外に設置されている避難所があるが、このようなアンマッチを解消していくべきではないか。②ポケベルの電波を利用して防災行政無線の受信機とするシステムが開発されている。ポケベルを利用した防災システムの検討を始めてはどうか。③安全の担架をそのまま使えるストレッチャープラスを導入すべきではないか。

区長 ①避難所と防災倉庫の設置場所が一致するよう、努めていく。②本システムは、文字でも音声でも情報の伝達ができることから、災害情報の伝達手段としての有効性を研究していきたい。③ストレッチャープラスを取り付けることにより、担架を一人で搬送することができるとも、有効性を研究し、導入を検討する。

家賃補助制度を導入せよ

23区においては11区が家賃補助制度を設けているが、そのうち、7区が子育て世帯に向けた家賃補助制度となっている。区は、現在、住宅マスタープランの改定に向けた議論を進めているが、家賃補助制度の導入を検討すべきでは。

区長 子育て世帯に対する家賃補助制度の導入は難しいが、実情やニーズに応じた適切な居住支援の在り方を検討していく。

公園の利用ルールを作成せよ

トイレ設置の問題、ボール遊びの利用方法、喫煙の禁止など公園の利用には問題が山積している。この課題の解決には近隣住民や公園利用者の合意が必要である。町会など

今後検討をしていく。

区長 当事者の意見を反映した条例制定の検討を行うべきでは。

区長 西武新宿線地下化後の鉄道上部空間の土地利用を問う

区長 親子農園や、区内在住・在勤クリエーターの創作活動の工房として活用してはどうか。

区長 地域の意見を伺いながら検討していきたい。

町会・自治会掲示板に支援を
掲示板は、地域の重要な情報源であるため、設置にかかる支援を拡大すべきでは。

区長 設置の支援に取り組みたい。

区長 公園ごとに機能や利用方法などが異なるため、利用ルールの見直しは必要であると考えている。その際は町会等の協力も得ていきたい。

地域猫対策事業の
助成対象を拡大せよ

猫の不妊去勢手術などを目的とした地域猫対策事業の助成対象を町会以外の個人や団体にも拡大すべきではないか。

区長 町会やボランティア活動をされている方などから意見聴取等を行い、現行制度を検証した上で、必要な見直しを行っていく。